

地域文化資源活用交流産業推進事業

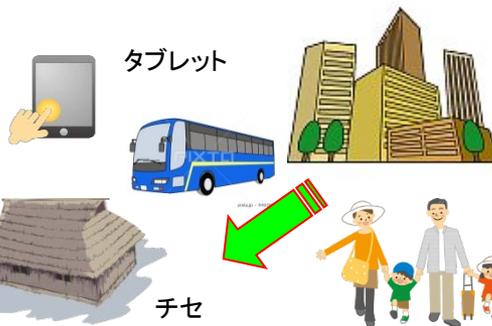
概要

平取町は、農林業を基幹産業とし、アイヌの人々が古から集住し、アイヌ文化が色濃く残っているが、伝統的な工芸技術の継承には担い手育成と交流産業推進による工芸品の販売促進が不可欠となっていることから、地域資源の活用による交流人口の増大を図る。

事業の内容

事業の内容

平取町の特徴と言える二風谷に継承されるアイヌ伝統工芸を中心にホームページやポスター等による情報発信と、地域資源ガイド研修と道央圏と平取をつなぐシャトルバスによるツアーの実証実験を実施。



総事業費

11.0百万円

ポイント

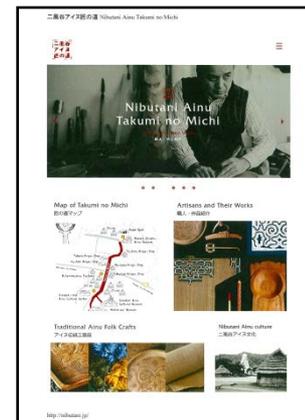
平成25年3月に「二風谷イタ」(木製お盆)「二風谷アットウシ」(樹皮から作った糸の織物)が伝統的工芸品に指定されたことを踏まえて、二風谷の伝統工芸に関するWEBサイト開設と木彫やチセ(伝統的家屋)での昼食などの体験プログラムにより情報発信を行った。

事業の成果

関東圏・道央圏都市住民を対象としたシャトルバス運行により延べ373名が平取町を訪れ、伝統工芸の体験などアイヌ文化にふれ、伝統的工芸品の指定を受けたことの認識やアイヌ文化の普及の一助となり、また、伝統工芸を中心にアイヌ文化を紹介するWEBサイト開設により、平取町における交流人口を増大する一つのモデルづくりに着手ができた。今後、より平取らしさを特色とするツアーの開催や交流人口の増大を通じた活性化方策の取り組みが必要。

北海道平取町

- 工芸品等PRシステムの開発
「二風谷アイヌ匠の道」ホームページの作成



- シャトルバスの運行
「びらとり満喫体感日帰りツアー」